

牛久市スポーツ施設整備基本計画

概要版

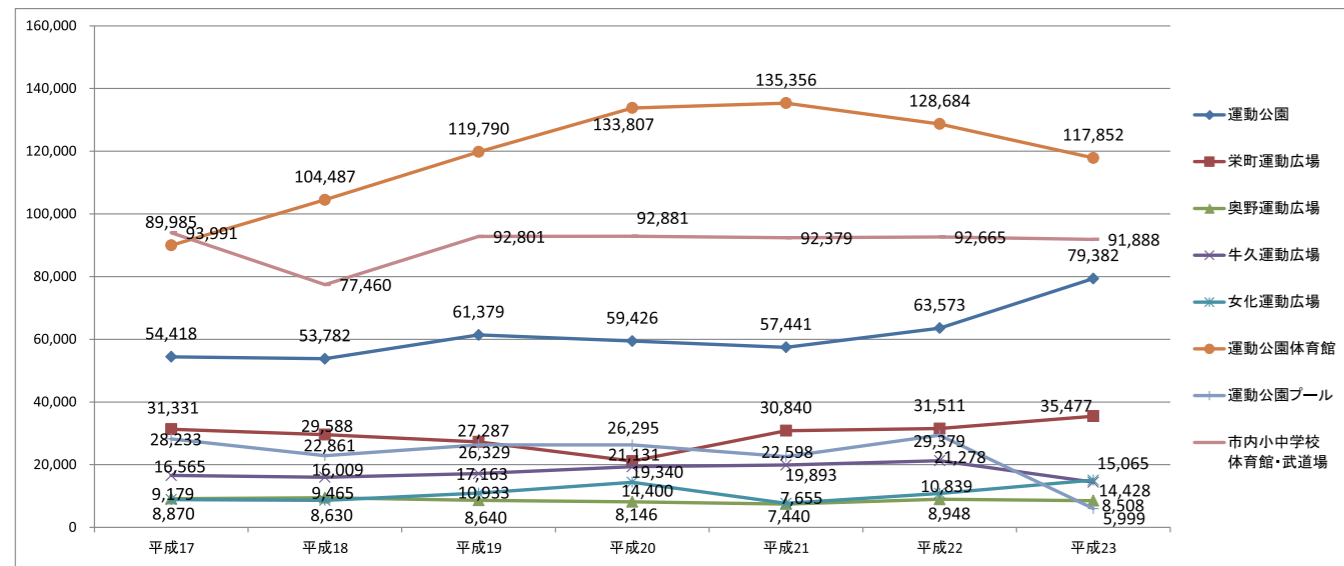


I 計画策定の目的

牛久市では、市民の健康増進や住民福祉の向上に取り組むなかで、牛久運動公園をはじめとして各地域においてスポーツ施設の整備や市民スポーツ振興に取り組んできました。しかし、近年はスポーツ施設に対する市民の考え方が変化し、利用者ニーズの多様化など、スポーツ施設を取り巻く環境も大きく変化しています。このような状況から、誰もが利用しやすいスポーツ施設づくりが求められるとともに、コミュニティづくりの拠点、防災の拠点となる機能を備えたスポーツ施設の重要性が高まっています。牛久市では平成22年に「スポーツ健康都市宣言」を行い、平成31年(2019年)には、茨城県で45年ぶりとなる国民体育大会(以下国体)が開催予定で、牛久市も開催地のひとつとなっています。このようなことから、牛久市におけるスポーツ活動やスポーツ施設の利用状況等について調査し、上位計画及び関連計画との整合性を持った、スポーツ施設の整備及び運営についての基本計画を定める事を目的として本計画を策定いたします。

II 主なスポーツ施設の現況と利用者数の推移

施設内容	多目的広場	野球場	テニスコート	ゲートボール場	体育館	卓球場	トレーニング室	プール	弓道場	武道場
施設数	6	1	3	4	16	1	1	2	1	4



平成25年3月

III 利用者意向調査

調査概要

- 対象者：2048名(スポーツ団体と一般市民無作為抽出)
- 調査時期：平成25年3月
- 回答数：995名(回収率48.6%)
- 調査方法：郵送による配布・回収



質問	回答意見傾向	
と現在の在り方	過去一年、どのようなスポーツを行ったか 過去一年、どのくらいスポーツを行ったか 過去一年、どこで、スポーツを行ったか 過去一年、なぜ、スポーツをしなかったか これからスポーツをどのくらい行いたい	日常的に気軽にできるスポーツが上位 約3割の市民が毎週スポーツを行っている 公共スポーツ施設利用者が多く、家庭で行う人も多い スポーツの機会を提供することで課題が解消できる可能性がある 毎週スポーツを行いたいという積極的意見が多い
牛久市内のスポーツ環境	スポーツ環境の満足度 スポーツ環境の評価(ワースト意見)	市内のスポーツ環境には、約65%が満足している 施設の利便性(量・位置)に対する不満が多い 運営面に対する不満がみられる 施設整備の充実が求められている
施設からスポーツ振興	市内のスポーツ施設に、どのようなことを望むか 新設・増設を望む施設 新設・増設を望む場所 スポーツ振興に、期待する効果 今後のスポーツ振興で、力を入れるべきこと	施設利用の利便性を高めること、スポーツを行うことに伴うソフト面の充実が求められる 多様なニーズに応えられる屋内施設の充実(整備)が求められている 市街地への整備を求める意見が多い 生活環境の変化や高齢化に対応したスポーツ振興が求められている 子どもを対象としたスポーツ振興とスポーツを通じた地域の拠点整備と交流促進も求められる 各年齢層に応じたスポーツ振興 スポーツについてのソフト面での振興

IV スポーツ施設の課題・整備の理念と方針

▶スポーツ施設の課題

近い将来に訪れる超高齢社会のような状況に対応するため、これまで「運動する場」であったスポーツ施設が、スポーツをとおして、地域コミュニティの強化と地域活性化が促進されるように、その受け皿としての地域交流の中心的役割を果たす施設(たまり場)の重要性が高まっています。

また、健康づくりや防災への意識が一層高まってきており、幅広い世代が気軽に安心して活動できるスポーツ施設、かつ、災害時の防災拠点としての役割を備えた施設が必要です。

▶整備の理念と方針

【整備の理念】

市民が心身共に健康で、夢と希望、スポーツの恩恵を分かち合えるよう、10年後、20年後を見据えた施設の拡張や新設、各競技の全国大会の誘致を進めます。

【整備の方針】

- 地域交流の拠点となる施設**
地域活性化が図れるよう、地域の人がいづつも集えるたまり場、地域交流や世代間交流の拠点となる施設を整備します
- 健康増進と生涯スポーツ推進のための施設**
子供から高齢者まで、幅広い年齢層に対応した、誰もが安全かつ気軽に利用できるように施設を整備します
- 計画的な修繕と維持管理**
老朽化した施設の計画的な維持管理と、長寿命化のために予防保全型の維持管理を行います
- 災害時の防災拠点となる施設**
災害時には、避難場所や災害関連用品の備蓄倉庫等の防災機能を合わせ持った、地域の防災拠点となる施設を整備します

V 施設整備計画

▶整備構想について

本計画では、「拠点スポーツ施設」である牛久運動公園と、それを補完する「準拠点スポーツ施設」である運動広場、健康増進のための「地域スポーツ施設」である小学校区の施設に区分し、細かなニーズに対応できるように整備を進めることとします。



▶拠点スポーツ施設

- 【牛久運動公園】
- 1)公式競技に対応した施設のオフィシャル化
 - 2)新たな施設の検討(陸上競技場、サッカー場、体育館など)
 - 3)駐車場の拡大整備
 - 4)公園の拡張と機能の充実
 - 5)老朽化した施設の適切な維持管理
 - 6)スポーツ指導者の育成、配置
 - 7)スポーツ教室やスポーツ行事の充実

▶準拠点スポーツ施設

- 【栄町運動広場】
- 1)夜間照明の設置
 - 2)施設の多目的利用(中央学習センター・その他文教施設等)
- 【文化運動広場】
- 1)管理棟・夜間照明の設置
 - 2)仮設トイレの設置(平成25年度予定)
 - 3)駐車場の舗装
 - 4)防球ネットの設置

- 【牛久運動広場】
- 1)施設の多目的利用(三日月橋生涯学習センター)
 - 2)テニスコートの整備・増設(不整形地の解消・人工芝生化)

- 【奥野運動広場】
- 1)施設の多目的利用(奥野生涯学習センター)
 - 2)テニスコートの増設
 - 3)駐車場の拡張

▶地域スポーツ施設

- 【ひたち野うしく小学校地区】
- 1)サイクリングロード・遊歩道の整備(小野川沿い)
 - 2)休憩施設の整備(ベンチ・テーブル等)
 - 3)スポーツ指導者の育成、配置
 - 4)スポーツ教室やスポーツ行事の充実
 - 5)新たな施設の検討(新設の場合の候補地)

- 【中根小学校地区】
- 1)サイクリングロード・遊歩道の整備(小野川沿い)
 - 2)休憩施設の整備(ベンチ・テーブル等)
 - 3)スポーツ指導者の育成、配置
 - 4)スポーツ教室やスポーツ行事の充実
 - 5)民間施設の活用

- 【岡田小学校地区】
- 1)サイクリングロード・遊歩道の整備(小野川沿い)
 - 2)休憩施設の整備(ベンチ・テーブル等)
 - 3)民間施設の活用

- 【牛久第二小学校地区】
- 1)多目的に利用できる屋内施設の設置
 - 2)高齢者の生きがいづくりの場としての活用
 - 3)地域交流・世代間交流の場としての活用
 - 4)防災機能を考慮した施設の設置

- 【牛久小学校地区】
- 1)サイクリングロード・遊歩道の整備(稲荷川沿い)
 - 2)休憩施設の整備(ベンチ・テーブル等)
 - 3)施設の多目的利用(三日月橋生涯学習センター)

- 【向台小学校地区】
- 1)遊歩道の整備(調整池周辺)
 - 2)緑道の延伸
 - 3)民間施設の活用

- 【神谷小学校地区】
- 1)民間施設の活用
 - 2)健康推進プログラムの開発

- 【奥野小学校地区】
- 1)サイクリングロード・遊歩道の整備(小野川・乙戸川・桂川沿い)
 - 2)休憩施設の整備(ベンチ・テーブル等)
 - 3)施設の多目的利用(奥野生涯学習センター・キスクリーンセンター)

▶その他の施設整備

- 1)ヘルスロードの整備
- 2)健康遊具の整備(公園)

